

学校だより

大阪市立玉川小学校

11月号

令和7年10月31日

冬支度が始まりましたね

少し前まで夏日が続いていましたが、先月下旬ごろより急に寒くなりました。本来なら一日一日深まりゆく秋の情景が見られるはずなのですが、全国的に街々では、急ぎ足で冬支度が始まった感じがします。今年も残すところ、わずか2か月です。季節の変わり目でもありますので、ご家庭では体調管理を徹底していただき、健康には十分ご留意いただきたいと思います。

ご協力ありがとうございました

学校だより10月号でお知らせいたしました「令和7年度前期学校教育アンケート【保護者用】」へのご協力を賜り、本当にありがとうございました。結果と次年度に向けた分析につきましては、3学期実施予定の後期分と合わせまして、6年生の卒業前に配付させていただく予定です。お知りおきください。

まもなく「給食たべたよ週間」が始まります

収穫の秋にちなんで、本校ではこの時期に「給食たべたよ週間」を実施しています。食への関心を高め、無理なく自分にとっての適量を、残さずに食べようとする意識を高めるための取り組みです。

年間を通して各学年・各学級におきましては、計画的に食に関する指導も進めています。また、アレルギーに関する指導や対応につきましては、アレルギーのある子どもたちだけでなく、周りの子どもたちにもしっかり理解と対応ができ、一般常識として蓄積できるようにも取り組んでいます。

実際の給食場面では、学級の間みんなが楽しく会話をしながら喫食することを第一としながらアレルギーへの配慮が本人はもとより、周りの児童にもあたりまえのこととして配慮できるよう、指導を徹底しています。

アレルギーの注視事項として、実際に喫食して発症するケースだけでなく、飛沫によって発症するケースや空気中の漂いによって発症するケースなどが、過去に見られたことから、特に注視する事項としています。

一方で、給食時間中の喫食については、コロナ過の折に、全員が前を向いて

の黙食とされていましたが、コロナが明けてからは黙食が中止され、会話しながらの喫食となりました。本校では、学年・学級の児童の状況を鑑みながら、全ての児童がアレルギーのことを気に留めながらも楽しい会話を工夫し、喫食できるよう取り組みを進めています。

食に関する指導は、健やかな心と身体を育むだけでなく、生命を維持するために必要な取り組みです。これからも学校全体で広義の視点を重視した取り組みにしていきたいと考えています。ご理解・ご協力をお願いいたします。

高学年児童の威力が発揮された全校遠足！

10月23日(木)に鶴見緑地で全校遠足を実施いたしましたが、その日の高学年の素晴らしい活躍についてお伝えいたします。

当日は、汗ばむ陽気との表現がぴったりの天候の中、全校児童が早朝より鶴見緑地に移動しましたが、電車乗車前の整列や乗車中の態度が大変立派で、要らぬ会話も見られず、マナー良い態度が出発時から見受けられました。

現地では、いつものおはようタイムの生活班に分かれての緑地内オリエンテーリングでしたが、そこで素晴らしい光景を目にしました。

【素晴らしい光景】

① 「トイレに行きたい」と低学年児童が6年生リーダーに声をかけると、「他に行きたい人はいませんか」と尋ねなおし、行きたいと訴えた児童のリュックサックを預かり、すぐに行くように指示し、帰ってくるまでリュックサックを手持ちの状態で預かっていたこと。

② 快晴だったため、他校の来園児童とともに、地元の一般の来場者が大変多くみられた。園内を26グループが移動すると道いっぱい広がる可能性もあり、通行には配慮が必要であったが、6年生のリーダーが「広がると危ないので、1年生はここに並んで、そして2年生はその後ろについて」と常に自分たちの状況を把握、改善に努めていたこと。

③ リーダーの6年生の状況をしっかりと見習い、6年生の行動をサポートして、グループ毎のまとまりを支えたのが5年生児童であったこと。

① ② ③の様子から、本年度の全校遠足では、なんと、低学年児童の迷子がゼロという輝かしい結果を得ることができました。(拍手)

高学年児童の威力が大きく発揮され、大変有意義な一日となりました。

※ 記事内容にご不明な点がございましたら学校までお願いします。

(玉川小学校 ☎06-6443-3100)

校長 松下 淳則